

チェーンソーよもやま話

これからシリーズで、チェーンソーに関する様々なお話をさせて頂きます。

但し、お話しする内容には、私見も含まれていることをご了承ください。

第3話

《目立て》

もしもあなたが高価で高性能のチェーンソーを手に入れたとしても、使ううちに切れ味はどんどんと鈍くなることでしょう。

チェーンソーは、日常的に「目立て」と言う「砥ぐ」作業を行う必要があります。

目立てがしっかりされておれば、少々安物で非力なチェーンソーでもそこそこの力を発揮してくれます。

残念ながら、しっかりと目立てがされていないために、お持ちのチェーンソーの性能を充分発揮できていない方が多いように見受けられます。

目立ては、基本をしっかり身に付けることが大切です。基本を学んだうえで、自分のスタイルを確立して下さい。



- ソーチェーンに合った丸ヤスリの選び方
 - ヤスリの持ち方
 - 目立ての姿勢
 - 目立て角度の理解
 - 目立て補助具の使い方
 - デस्पゲージの使い方
- などを理解して下さい。

テキストとしては、『伐木造材のチェーンソーワーク』石垣正喜・著(3,300円)をお勧めします。

そして、文字で読んでも理解しづらいという方は、「森づくり・奈良クラブ」に入会下さい。懇切・丁寧にお教えします。(まずはメールでご連絡下さい gvnc●nifty.com) ※●印は@に書き換えて